

東京教区時報

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1087号
2008年7月6日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

◇7月の代祷・信施奉献先
▽アジア学院の働きのため▽海の主日(7月第2主日7・13)
▽聖公会八王子幼稚園のため▽女性の家HELIPのため
《奉献先から》

アジア学院の働き
1973年栃木県西那須野町(現那須塩原市)に創設された。毎年アジア、アフリカ、太平洋諸島から30人前後の農村指導者を受け入れ、9ヶ月間、開発途上国農村の生活上に必要な知識、技術の教育と指導者としての人格涵養のため共同体生活の場を提供している。また有機農業による米、野菜の生産と家畜飼育を通じ食料自給を実現している。学院は広く一般に開かれており、全国、海外から多くの

来訪者を受け入れ、「共に生きる」社会作りのため活動している。学院は公的機関からの補助金や助成金を受け取ることなく、学院の使命、目的に賛同する国内外の団体、個人からの寄付金により運営されている。

(アジア学院事務局長 楠利明)

▽7月の定期ランチャタイム・オルガンコンサート *聖パウロ11日(金) 12時20分、小島弥寧子 聖テモテ15日(火) 12時30分、小林英之 *神田キリスト16日(水) 12時20分、深井李々子 [各30分程度・入場無料]

今週・来週の予定

7月6日~19日

- 6(日) 聖霊降臨後第8主日
主教巡回 東京聖テモテ教会
- 7(月) フェスティバル礼拝部会
- 8(火) 銀座朝祷会
礼拝音楽委員会
常置委員会
- 9(水) エルサレム教区協働委員会
- 10(木) 聖職按手式前リトリート(ナザレ)
- 11(金) 広報委員会
聖職按手式(主教座)
- 12(土) 聖霊降臨後第9主日
主教巡回 神愛教会
- 13(日) ランバス会議主教出張(~8/7)
- 15(月) 教役者レクイエム(主教座)
正義と平和協懇談会
正義と平和協運営委員会
- 16(水) 環状G牧師協議会(立教諸聖徒)
- 17(木) フェスティバルだしもの部会
城南G牧師協議会(三光)
- 18(金) 財政: 会計委員懇談会
- 19(土)

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

99年8月に司祭に叙任され、その翌年00年3月定年退職。僅か8ヶ月の現役司祭としての働きであったが、そのような私であってもその後、神の恵みに生かされ、教区内の教会や聖路加国際病院の上田・ケビン両チャプレンのもとで、入院中の人々のために奉仕している。

《恵みに生かされて》

小さな生命を見つめて

司祭 米村路三

ことに同院の小児病棟で、ケビンチャプレンと共に「がん」とたたかう約20名の子どもたちとその家族のために、神にその癒しと、慰めと力が与えられるように祈る日々である。

この病棟では、「ひとりのこどもをひとりの人間として、どこまで大切にできるか。また、子どもたちにかかわる医師を始めたとした医療スタッフ全員が、子どもたちを「いとおしくて、ほっとけない。」という愛の心をもって、日夜治療にあ

たっている。私たちが病棟に行くと、比較的元気な子どもたちから「チャプレン」、「ケビン」、「ディチャン」などと呼びかけてくる。そして、その子どもたちとゲームをしたり、お話をしたりしてひと時の慰めになればと心掛けている。

しかし、今も、もう治すことができないほど病気が重くなっている子どももいるが、だけどもみんな一生懸命に生きようとしている。そのそばにいる

私たちは、「人は、いつかはかならず命の終わりがきて、死んでしまうかもしれない。それだからこそ、生きている時間を大事にしなくてはいけない。」ということを、たくさんの子どもたちから教えられた。

私たちにできることは、子どもたちとその家族のために神に祈ることのみである。投げキッスくれる患児の笑み夏の暮(東京教区退職)

▽礼拝音楽委員会(聖歌集を歌う会3) 軽井沢の涼風のか青空に祈りと賛美を…、8月8日(金)～9日(土)、立教女学院軽井沢キャンプ場。参加費9千円(宿泊・食事・旅行保険代等)、交通費別途(現地集合・解散)。申込締切は7月20日。

各教会・礼拝堂へ配付案内書参照。照会先 清瀬聖母教会・TEL 042(493)7472。

▽全国青年大会・沖縄 「ここにキリストは共にいる」の主題のもと8月20日(水)～23日(土)、今年は沖縄で開催される。プログラム、宿泊、費用等の詳細は各教会・礼拝堂に配付されている案内書参照。申込締切は7月22日厳守。また、そのための第2回目の事前準備会

(関東地区合同)が7月12日(土)14時、大宮聖愛教会で開催。照会等は教区事務所宣教主事宛(中村真希担当)信仰と生活委員会青年支援部会・聖マルコ教会。

◇夏期キャンプ(Ⅰ)

▽聖愛教会教会学校夕涼み会 Ⅱ7月12日(土)～13日(日)・教会 Ⅲ7月12日(土)～13日(日)・教会 Ⅳ東京聖三一教会日曜学校デイキャンプ Ⅱ7月13日(日)・教会 Ⅴ小金井聖公会

Ⅱ7月18日(金)～19日(土)・奥多摩 Ⅲ神愛教会サマーキャンプ Ⅳ7月19日(土)～21日(月)・小山祈りの家 Ⅴ浅草聖ヨハネ教会・葛飾茨十字教会 Ⅵ東関東聖公会合同キャンプへ合流・7月25日(金)～27日(日)

《8フェスタ・コーナー》

礼拝に集う一人一人が、何らかの仕方で主体的に関わっているという、「参加の実感」をもてるように企図しています。

『祈祷書』における、司式者に向けた会衆の応答句に因む「あなたとともに」というテーマは、会衆である「あなた」と「ともに」神を賛美しようという呼びかけです。ぜひ「あなた」も、聖歌隊や聖笛隊に参加してください。「あなた」の奏でる音、声、祈りを響き合わせましょう。子どもたちに、「リコーダー持って礼拝に行こう」と声かけ合ってみませんか。奏でる聖歌等は近く発表しますので、夏休みに練習できますね。

《フェスティバル実行委員会》

【学びと働きから】81

教区主教、ランベス会議へ

カンタベリー大主教招集により10年ごとに開かれる全聖公会主教会議…。7月16日から8月3日、カンタベリー・セント大主教キャンパスで行なわれ、植田仁太郎教区主教も参席する。出発に備えて多忙な主教に、会議の骨子などお話をうかがった。

— 今回の会議、どのような性格をもつのでしょうか。

主教 前回は、世界と教会にかかわるあらゆる問題について賛否を問い、「決議」することが多かったのですが、そのあたりを反省して決議を避けるような方向で進むのでは…。

— 決議しても各管区などに拘束力が及ばないから、とい

うことでしょうか。

主教 それもありますが権威

ある「決定機関」というより、主教たちが互いに理解し合う機会にしていくという意味です。例えば、同性愛聖職や同性間の結合の容認問題についても…。初期の時代と違って今は8百人も

の主教たちが集まるような状況です。議決はできても全聖公会の方向を決議するというのは現実的ではありません。

— 約20日間、どういったプログラムが…。

主教 毎朝・夕の礼拝、修養会、聖書研究、勉強会、そして最小限の決議へ向けた議論…。聖書研究はヨハネ福音書がテキストで、これだけ(と見せて下さり)部厚い資料が届いていまし

て、事前学習も大変です。

— 勉強会そのほかでは…。

主教 聖公会のアイデンティティ、福音と宣教、他教派・他宗教との関係、環境問題、人間の性…などに主教がどうかかわるべきかについて、講師を招いて学ぶことになるでしょう。そのほか「聖公会契約」の成文化についても諮られます。すでにその「契約」草案が送られてきています。日本聖公会としては、多様性の中の一致を守り、分裂などに至らないで済むような対応とか基本的合意には同意できますけれども、「契約」といった形での合意の必要性そのものに必ずしも賛成でないこと、確認し合っています。

「帰国後、レポートを連載」